

かみねねる

名寄東中学校
学校だより
令和6年11月29日発行

大人として

名寄東中学校長 小林 勝彦

本校にとって、11月は大きな行事もなく、生徒たちは、落ち着いた学校生活を送ることのできる月です。そして、3年生にとっては、卒業後の進路を決める三者面談が行われた月でもありました。義務教育終了後、どうするかをほぼ決定し、その目標にむけて、一段階ギアを上げなければならない時期でもあります。

進路決定の時期を迎えると、いつも思うことがあります。それは、思うような進路選択ができなかったからといって、目指していた進路に進めなかったからといって、肩を落とすことは無いということです。極端なことを言えば、中学校での進路選択は、高校に進学することだけが正解ではないという事です。現在は、色々な選択肢があり、今後、益々、その選択肢が増えていく世の中になっていくはずで。これからはそういう時代です。高校に進学して、できれば大学に行って、いいところに就職して、などという考え方は、学歴だけに縛られていた昔前の考え方です。子どもが10年後、いや20年後、何をやっているかが大切なことであって、どこの高校とか、どこの大学などは、問題ではないと思います。自戒の念も込めて、学歴に対して、未だに根強くステータスを感じている大人が、子どもたちの明るい未来の邪魔をしている可能性もあるような気がしています。

我々、大人が子どもたちに対してすべきことは、「大人の価値観だけに縛られることなく挑戦するチャンスを与えてあげること」、「できる限り選択の幅を広げてあげること」、「迷っていたら静かに光を灯してあげること」、「焦らずに見守り、安心感を与え、背中をそっと押してあげること」だと思います。そのためには、大人である私たち自身に、心のゆとりがないと駄目です。とは言っても、日々の忙しさに追われ、なかなか心のゆとりをもつことは難しいのも現実です。仕事や家事で疲れ切っているところに、多感な思春期の子どもが、我が儘な事を反抗的な口ぶりや態度で言ってきたら、冷静でいられる事の方が難しいでしょう。人間だもの当然です。しかし、我慢するのは、やはり大人の方です。人生には何度か大きな選択の時が訪れます。その最初が、中学3年の進路選択です。初めて直面する人生の大きな選択。一番、不安なのは子ども本人であることには間違いないのです。

先日、東京の一般企業に勤務する私の親類が「勉強しなさい、という親の言葉かけほど、虚しく意味の無い言葉はないと、今更ながら思うんだよね。」と食事の席で話していたことが印象に残っています。勉強しなければならないことは、本人が一番よく分かっている事です。頑張らなければならない事も、本人が一番感じていることなのです。彼は続けました。「嫌なことでも我慢して取り組もうとする心、何かを継続しようとする心、そういう心を我が子が幼い時に身に付けさせることこそが、親として、最も力を入れてすべきことだったと思う。後悔先に立たずかぁ・・・。」と。彼の話を聞きながら、私も同様に我が子のことを考え、改めて反省しました。兄弟姉妹だからといって同じように育てても駄目だということに、なぜ、もっと早くに気づけなかったのかと、私も深く後悔している親の一人です。

「嫌なことから逃げない心」「継続する心」は、実はかなり育てにくい力なのは周知のことです。なぜなら、その基本に「自己肯定感そして自尊心」の育成が必要だと言われるからです。（家庭における「自己肯定感・自尊心」の育成についての私の考えは紙面が足りないので次号に回します）教育者として偉そうにしながら仕事をしてきた私ですが、自分の足下を見たとき、まさに「紺屋の白袴」を地で行ってしまったことに気がついたときには手遅れでした。これから子育てをする方々には、私と同じ轍を踏んでほしくないとしみじみ感じた次第です。まずは、「15の春は泣かせるな。」です。



東中生の活躍

税の作文

名寄市長賞

税の標語

北海道間税会連合会会長賞

「税金で 未来の階段 繋げよう」

北海道間税会連合会会長賞

「税金で 未来へ繋ぐ 架け橋を」

北海道間税会連合会会長賞

「ぼくたちの 未来のための 消費税」

北海道間税会連合会会長賞

「税金で つくれる未来 救える命」

北海道道税会連合会会長賞

「税のこと 知って学ぼう つなげよう」

名寄関税賞

「今知ろう 税を納める 大切さ」

税務署長賞

「税金は 皆でつくる 未来募金」

東中ブログから随時更新中!!!

東中 →
ブログは →
コチラ →
から →



部活動や作品展の活躍
は、東中ブログから！
絶賛更新中です！



12月の行事予定

日	曜	行 事
1	日	
2	月	全校集会
3	火	
4	水	いのちの授業（3年）
5	木	インターンシップ（1年） カーリング授業（1-1）
6	金	インターンシップ（1年）
7	土	
8	日	
9	月	常任委員会⑪
10	火	
11	水	いのちの授業（2年）
12	木	職員会議⑪ 校内研修⑥ 部活動中止
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	いのちの授業（1年）
19	木	3年スキー授業
20	金	カーリング授業
21	土	
22	日	
23	月	通知表配付
24	火	2学期終業式 部活動中止
25	水	冬季休業(至 1月 16日)
26	木	
27	金	諸費納入日
28	土	北海道中体連スキー大会 ノルディック競技
29	日	学校閉庁日 部活動中止
30	月	学校閉庁日 部活動中止
31	火	学校閉庁日 部活動中止

